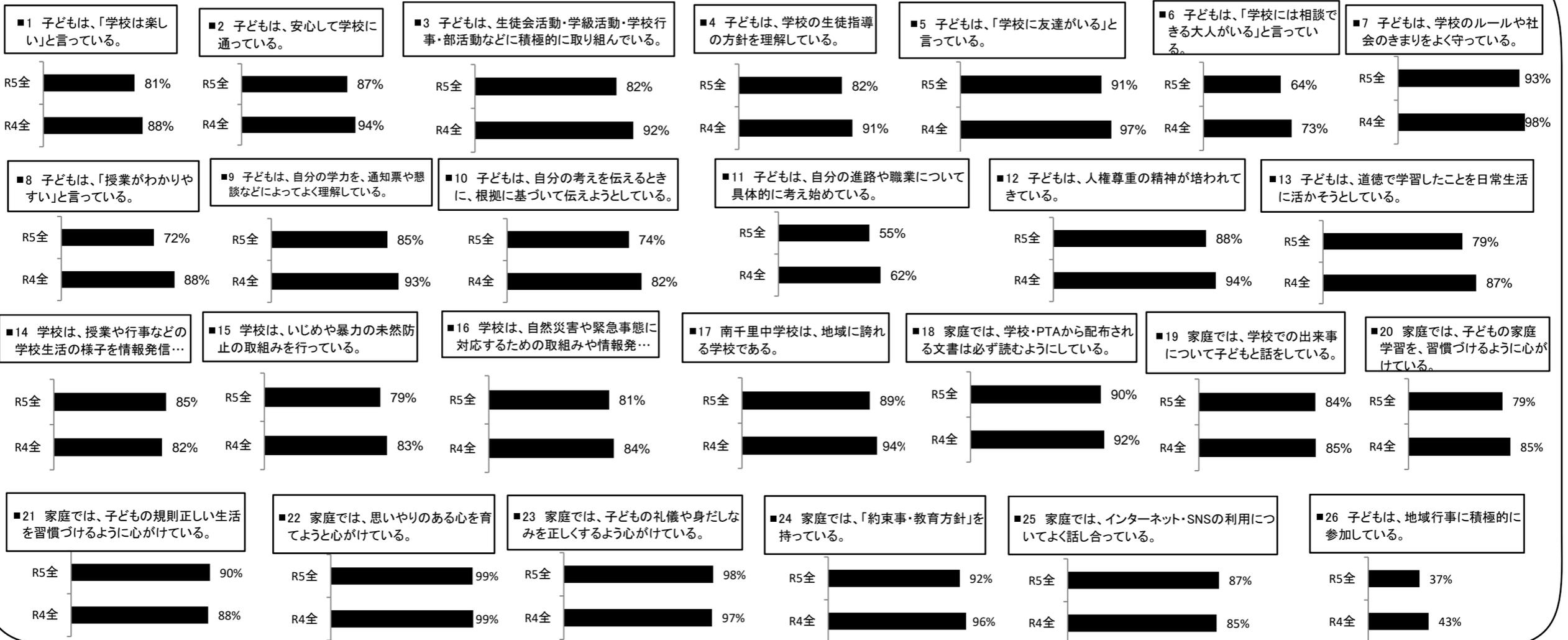


令和5年度 南千里中学校 学校教育自己診断

保護者(回答率94%)

※ 概ね良好な回答(1.そう思う+2.ややそう思う)



【校長より】

保護者の皆さま

今年度は、回答方法を生徒のタブレット入力から、さくら連絡網に変更したことにより、回答率が74%→94%と大幅に上昇しました。ご協力ありがとうございました。全体の傾向としては、残念ながら昨年度よりも肯定的回答は低下傾向にあります。が、学校教育に関する内容につきましては、生徒回答と比較していただくことにより、安心していただけるものと考えております。特に、設問6については、昨年度は課題に挙げておりましたが、今年度は9ポイント上回り、教職員への信頼関係の構築や良好な関係性が反映されたものと受け止めています。今後についても、学校教育目標「自ら学び、ともしつながら、やり抜く生徒の育成」のもと、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、積極的なICT機器の活用、全教員で関わる人権教育、道徳教育、生徒会活動の推進等により「安心・安全で地域に誇れる学校づくり」をめざしてまいります。成長途上の生徒ですので、悩みやトラブルについては当然と捉えています。SSW・SCとの連携も含め、ともに寄り添って考えていきたいと思っております。日々の様子は南中ブログ、学校だより等にて発信に努めています。生徒も教員も笑顔輝く南中でありまうように、引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【アンケート結果から】 設問1～13について、すべての項目で前年度を5ポイント下回っています。なかでも、設問3、4、6、8、13はいずれも10ポイント近い開きがあります。学校での生徒の様子や取り組みを本校ウェブサイト、南中ブログ、学校だよりなどを通じて、より積極的に配信し、本校の目指す生徒像を保護者の皆さまにも実感していただくべく、教員一丸となって取り組んでまいります。

設問14、16ともに80%以上の肯定的な回答であり、昨年度よりも少し高い値となっています。日々の学校での様子については、本校ウェブサイト、南中ブログ、学校だより、学年だより等各種お便り、さくら連絡網などを利用して、発信しています。

昨年度より回答率が高くなった要因は、今年度より利用を開始したさくら連絡網による入力への変更の結果であり、保護者の方の携帯電話に直接届くシステムが利便性の高さを生み出しているものと考えられます。

設問15 80%近くの肯定的な回答でしたが、昨年度より少し低い値となっています。「いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることである」という認識のもと、今後ますます未然防止に取り組むとともに、子どもたちに丁寧に寄り添い、誰もが安心・安全に過ごせる学校づくりを行ってまいります。

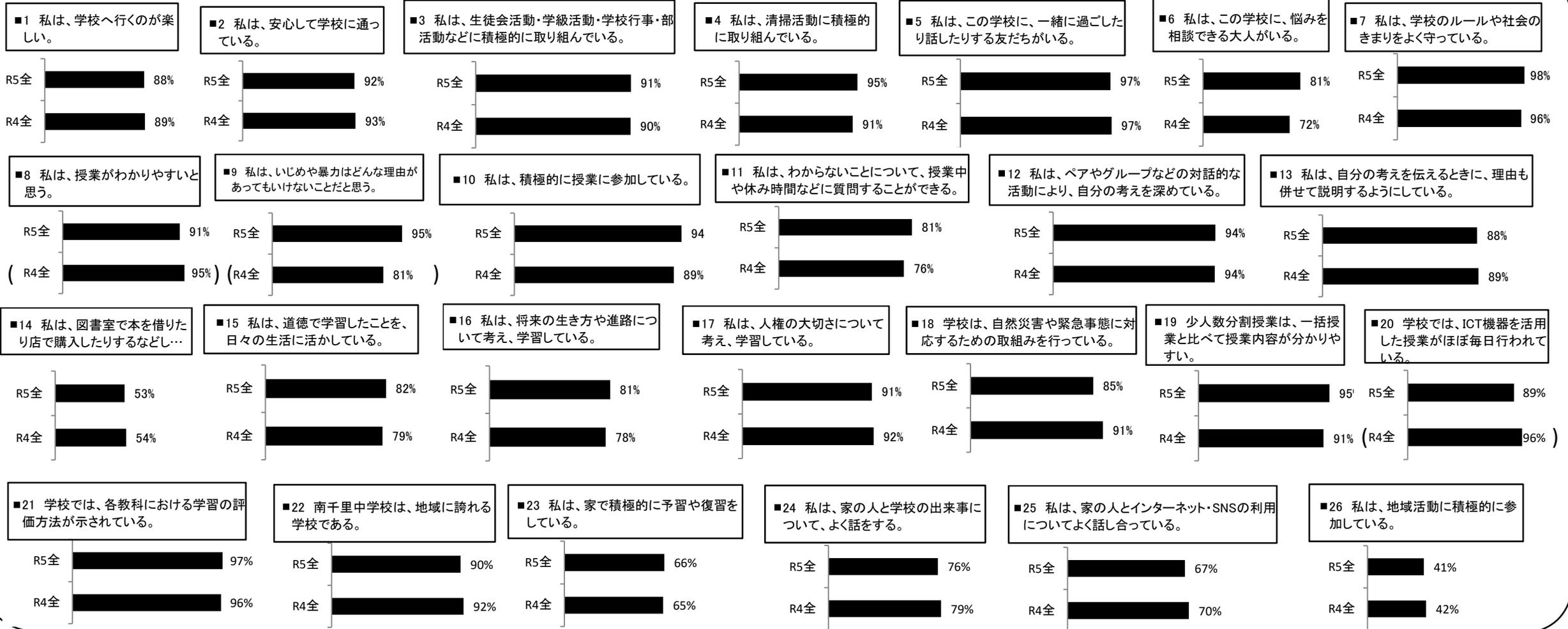
設問17 90%近くの肯定的な回答という高い評価をいただいておりますが、昨年度より少し低い値となっています。学校の改善点を捉えながら、今後も保護者地域の皆さまと力を合わせ子どもたちの健やかな成長を支援していきたいと考えています。よろしくお願い申し上げます。

設問18 「家庭では、学校・PTAから配付される文書は必ず読むようにしている。」が、90%以上の高い肯定的な回答をいただいております。今年度から導入したさくら連絡網を多くの保護者の方が日常的にご覧になっていることがわかります。

設問21～24において、肯定的な回答が90%以上と高い割合を占めていることから、保護者の方がご家庭でお子さんの教育をしっかりと行おうとする姿勢がうかがえます。

設問26 「子どもは、地域行事に積極的に参加している。」では肯定的な回答が37%と低く、コロナ禍を経験したことにより地域行事に積極的に参加しなくなったことがうかがえます。

※ 概ね良好な回答(1.そう思う+2.ややそう思う)



【校長より】

日頃から男女の別なく、積極的な授業での意見交流、参画の場面や行事に一生懸命取り組む姿が見られますが、概ね安心して学校に通い、楽しく学校生活を過ごす様子が回答にも表れています。特に、昨年度課題に挙がっていた設問が大きく上昇しました。引き続き、生徒の困り感に寄り添うことのできる関係づくりに注力するとともに、設問9、15、17にあるように、倫理観を備え、共感性を大切にする南中生の育成に努めていきたいと考えます。

【アンケート結果より】

設問1「私は、学校へ行くのが楽しい」に対して、肯定的な回答は88%を占めるが、否定的な回答は12%あり、注視すべき点である。設問2「私は、安心して学校に通っている」に対して、肯定的な回答は92%を占める。
 設問3「私は、生徒会活動・学級活動・学校行事・部活動などに積極的に取り組んでいる」に対して、肯定的な回答は91%で、前年度より1ポイント、R3年度比で4ポイント上回っている。これは、コロナによる規制が以前より緩和している影響だと考えられる。設問4「私は、清掃活動に積極的に取り組んでいる」に対して、肯定的な回答は95%で、美化意識の向上が伺える。設問5「私は、この学校に、一緒に過ごしたり話したりする友だちがいる」に対して、肯定的な回答は97%で、昨年度と変化はない。設問6「私は、この学校に、悩みを相談できる大人がいる」に対して、肯定的な回答は81%で、昨年度より9ポイント上回っている。教職員との信頼関係の構築がうかがえる。
 設問7「私は、学校のルールや社会の決まりをよく守っている」に対して、肯定的な回答は98%である。
 設問8「私は、授業がわかりやすいと思う」に対して、肯定的な回答は90%を上回っている。引き続き校内研修等により授業力向上をめざしていく。(昨年度設問8「わかりやすい授業がある」から変更)
 設問9「私は、いじめや暴力はどんな理由があってもいけないことだと思う」に対して、肯定的な回答は95%で、いじめ防止に対する意識の高さが伺える。(昨年度設問9「学校はいじめや暴力の未然防止の取組みを行っている」から変更) 設問10「私は、積極的に授業に参加している」に対して、肯定的な回答は90%以上ある。設問11「私は、わからないことについて授業中や休み時間などに質問することができる。」に対して、肯定的な回答は80%以上あり、昨年度比5%上回っている。授業や学習内容について理解できなかった部分などを自己解決する傾向にあると考えられる。ペアワークについての設問12や、発表についての設問13において、90%に近い肯定的な回答が得られていることにつながっていると考えられる。授業の中で自分の考えや意見をアウトプットする機会が多く、学習に対して前向きに取り組む環境を生徒自身で作ることができている。図書室についての設問14では、肯定的な回答は50%程度見られた。文献を使っての学習が少ない反面、ICT機器を用いた学習に重きを置いているためだと考えられる。設問15～17特活、道徳、総合学習において、肯定的な回答は80%～90%程度あった。いずれも、日常生活につなげて考えて学習している生徒が多いと考えられる。設問18～26に対して、昨年度と比較して目立った増減は見られなかった。設問18「災害や緊急事態に対応するための取組み」に対して、肯定的な回答は6ポイント下回っているが、85%を維持できている。「災害や緊急事態に対応するための取組み」、「少人数分割授業による学習効果」、「ICTを活用した授業への取組み」、「各教科の学習評価方法の指示」に対して、肯定的な回答は昨年度に引き続き概ね90%を上回っており、設問22「本校は誇れる学校である」に対して、肯定的な回答は90%を上回っていることにつながっているとみることができる。(昨年度設問20「学校では、ICT機器を活用した授業も行われている」から変更)
 設問24「私は、家の人と学校の出来事について、よく話をする」、設問25「私は、家の人とインターネット・SNSの利用についてよく話し合っている」という「家の人との会話」に対して、肯定的な回答は7割程度にとどまっている。
 設問23「私は、家で積極的に予習や復習をしている」に対して、肯定的な回答は6割程度であるが、塾などの学習を含めず回答しているのではないかと考える。また、設問26「私は、地域活動に積極的に参加している」に対して、肯定的な回答は4割程度となっていることから、機会が少ないこと、時間が取れないことも合わせて、学校外の活動についてやや消極的な一面も考えられる。